TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　種なしパン

コリントの信徒への手紙一 5 章 1～8 節

2025 年 2 月1 & 2日
余沢　武 牧師

I. はじめに

皆さん、こんにちは。前回、コリントの信徒への手紙一では、コリントの教会がパウロ派のひとたちとアポロ派のひとたちに分かれて、信徒の中には「神さまの知恵」に焦点を合わせなくなる者が出てきてしまったことを学びました。

自分たちの罪と向き合わなくなり、十字架が必要であること、イエスのようにもっとなるために神の助けが必要であることが見えなくなっていました。その代わり、彼らは知識や他のものに目を向けるようになりました。それに対して、パウロとほかの使徒たちは、続けて自分たちの罪、十字架、そして神の助けに焦点をあてました。 迫害を受けても神さまのために働き、抑圧する者を祝福し、中傷に対して憐み深く対応し、イエスのようになっていきました。

今日は、何が原因でコリントの人々が「神さまの知恵」から離れていってしまったのかをみていきます。
お祈りします。

II. 種なしパン

(1)性的不道徳

コリントの信徒への手紙一 5:1「[1]現に聞くところによると、あなたがたの間に淫らな行いがあり、しかもそれは、異邦人にさえ見られないもので、ある人が父の妻と一緒になっているとのことです。」

コリントの教会が容認していたのは「淫らな行い(性的不道徳)」―つまり父親の妻と性的な関係を持つ罪でした。

レビ記 18:7～8「[7]あなたの父を辱めること、すなわち、あなたの母を犯すことをしてはならない。彼女はあなたの母だから、これを犯してはならない。[8]あなたの父の妻を犯してはならない。それはあなたの父を辱めることである。」

レビ記 20:11「[11]人が父の妻と通じたなら、父を辱めたために、両者とも必ず死ななければならない。血の責任は彼らにある。」

実際、容認されていたこの罪は異邦人にでさえも嫌悪されていました。
ローマの法学者ガイウス(AD161)によると、「父親、または母親の姉妹と結婚すること、かつて義母であった人と結婚することは違法である。」(Gaius, Institutes, 1:63; Eng. ed., J. Muirhead.)

共和政ローマ末期の政治家キケロ(BC106-43)は、「義母が義理の息子と結婚することなど考えられない。その女性の罪は信じられないもの、聞いたことがないものである。」と記しています。(Cicero, Pro Cluentio 5.27; rpt. Speeches, Loeb Library)

パウロはコリントの信徒たちにこの箇所の前にあった「ここに記したこと以上の意味はない」、すなわち「神さまの知恵以上のものはない」の意味を理解することを望んでいました。私たちは自分たちの罪、十字架、神の助け、そしてイエスの似姿に成長し続けることに焦点を合わせる必要があります。

しかし、コリントの信徒たちは、そうしませんでした。既に自分たちの罪は赦されているのだから、何をしてもいいと思ったのでしょう。 その中には、聖書箇所に記されているような近親相姦や、旧約聖書で禁じられていた不自然かつ不道徳な性行為。結婚外の男女間の性的行為に思いを巡らすこと。例えばポルノをみること。結婚外の男女間の性的行為。それは以下も含まれています。

ー交際中、同棲中、あるいは婚約中である場合。本当に愛し合っているのであれば、そのことに思い巡らすことは神さまも理解を示してくださるだろう、と考えること。
ー結婚外で性的行為を持つこと。不貞行為。

ーまた、愛を持ってお伝えしたいと思います。このことについて苦しんでおられる方々がいると知っています。同性との性的な行為を考えること、同性との性行為、同性婚も含まれています。

コリントの信徒たちの問題はこれです。「神さまの知恵」に希望を持つことをせず、自分の罪を認めること、神の赦しを受け取ること、イエスの御性質を着ること、神の子供たちに完全になることに焦点をあてることをやめてしまいました。

パウロは2節で次のように言っています。
コリントの信徒への手紙一 5:2 「それでも、あなたがたは高ぶっているのですか。むしろ悲しんで、そのような行いをしている者を自分たちの中から排除すべきだったのではありませんか。」

彼らは「神さまの知恵」に対する希望を失ってしまった人に対して、悲しむべきでした。そのような罪を行う人を「自分たちの中」から「排除するべき」でした。

(2)パウロの裁き
コリントの信徒への手紙一 5:3～5 「[3]私は、体では離れていても霊ではそこにいて、現に居合わせた者のように、そんなことをした者をすでに裁いてしまっています。[4]つまり、私たちの主イエスの名により、主イエスの力をもって、あなたがたと私の霊が集まり、[5]このような者を、その肉が滅ぼされるようにサタンに引き渡したのです。それは、主の日に彼の霊が救われるためです。」

パウロは「私の霊はあなたと共にあります」と言いました。「私はあなたたちのことを思っています。」とは言ってはいません。彼の霊が今、彼らと共にあるのだと言いました。

クリスチャンとしてパウロの内に聖霊がいて、パウロの魂は聖霊と交わりがありました。同じように、コリントの信徒たちの内にも聖霊がいて、彼らの魂は聖霊との交わりがありました。そのため、パウロはコリントの信徒たちと霊的に共にいました。

聖霊を通して、イエスの名において、イエスの力によって彼らと共にいたパウロは、悔い改めない罪人に対して裁きを言い渡します。そしてパウロは、コリントの信徒たちに、一緒にその裁きの内容を聞いてほしいという思いから話しました。

「サタンに引き渡した」―教会の傘の下に置かず、サタンによって支配される世の中に戻すこと。つまり、教会から出すことです。

「その肉が滅ぼされるように」―神に対する自分の罪の重さに気づいた時に、肉欲を満たす思いが打ち砕かれるためです。

「主の日に彼の霊が救われるため」―これらのことをする目的は、その人が悔い改めない罪人のままでいるのではなく、イエスの救いを受け入れるためです。

これは、いわゆる「教会戒規」と言われるものです。教会が神の聖なる人々であり続けるために、痛みを伴うけれども、必要不可欠なプロセスです。パウロは、その罪を行っていた人はみんなが知っていた人だったからこそ、コリントの信徒たち全員に伝えました。

TBC では、「教会戒規」を実行する時、その人が教会全体に知られている人でいれば、みんなの前で伝えます。また、ごく一部のグループにのみに知られている人であれば、そのグループにのみ伝えます。そうすることで、その人が知っている人たちがその人の回復のために祈ることができます。

(3)祭りを祝う
コリントの信徒への手紙一 5:6～7 「[6]あなたがたが誇っているのは、よくないことです。僅かなパン種が生地全体を膨らませることを、知らないのですか。[7]新しい生地のままでいられるように、古いパン種をきれいに取り除きなさい。現に、あなたがたはパン種の入っていない者なのです。キリストが、私たちの過越の小羊として屠られたからです。」

古代では、パン作りの主流は、新しい生地の中に、前回パン作りに使用した僅かな発酵生地を加える方法をとっていました。この僅かな発酵生地はパン種と言います。

新しい生地に加えられると、パン種の中の酵母菌が新しい生地の中の糖を分解し、アルコールと二酸化炭

素を生み出すことで、パンが膨らみます。しかし、パン種には毒素を生む雑菌汚染の危険性が必ずあります。

古いパン種を使うことで、その後繰り返されるパン作りのパン生地が汚染され続けます。そのため、パン種は悪の汚染力のシンボルによく使われます。汚染が広がる場合、悪いパン種は処分する必要があります。

これが行われるのは、過越の祭り、神が民をエジプトの奴隷制度から解放したことを覚えるときでした。彼らはこのように祝いました。
朝に家中を探して全ての古いパン種を処分します。午後に、過越の祭りのために用意された仔羊が犠牲となります。そこから7日間、種なしパンの祭りが始まります。奴隷の身から解放され自由になったことを祝い、何の汚染もされていない種なしパンをいただくのです。

パウロはクリスチャンをパン生地に例えています。かつて私たちは、古いパン種の汚染によって、雑菌いっぱいの生地でした。罪、ポルノ、不道徳な思いや関係に汚染されていました。しかし、私たちの過越の祭りの子羊であるイエスが私たちのために犠牲となってくださいました。それによって、私たちは罪から解放されました。今は種なしパンの祭りを祝う時です。私たちの内に働いている聖霊によって私たちは新しいパン生地であり、また聖霊が私たちをポルノや不道徳な思いと関係から解放してくれました。パウロは、新し生地である神の民の内に、古いパン種である不道徳な罪を受け入れて汚染させて、教会を滅ぼさないようにすることを説いています。腐ったみかんを新鮮なみかん箱に入れるのと同じです。汚染されたものは取り除くべきです。

代わりにこうするように8節で言いました。
コリントの信徒への手紙一 5:8 「[8]だから、古いパン種、悪意と邪悪のパン種を用いず、パン種の入っていない純粋で真実なパンで祭りを祝おうではありませんか。」

私たちの人生は古いパン種、悪意と邪悪が中心である人生であってはなりません。種なしのパン、真摯であること、真実が中心である人生でないといけません。このようなことば遣いは私たちの行動の原動力をあらわします。私たちは聖霊の助けによって、透明性を持ち、真正を追求し、神を喜ばせたいのです。

わかりますか。教会は、罪の葛藤がない人々の集まりではありません。自分の罪と葛藤しながらも、聖霊の助けによって、透明性を持って、真正を追求し、神を喜ばせたいと望んでいる人々の集まりです。

そのため、「罪と葛藤しています。私のために祈ってください。」と頼まれると、私はその人を軽蔑することなく、神を褒めたたえます。

随分前に、ある若い男性から、彼のインターネット閲覧記録が私に送られるようにしたい、とお願いされました。彼がポルノをみたならば、その事実が私の元に送られてくることによって、責任逃れが出来なくなるようにしたかったのです。彼を軽蔑しませんでした。代わりに神を褒め称えました。

また、時には男女間、また同性間の性的誘惑に苦しんでいる男性から、克服できるように祈ってください、とお願いされることがあります。 軽蔑しませんでした。 代わりに神を褒め称えました。

またある時、若い男女のカップルが罪を犯してしまったので祈ってくださいとのお願いされました。軽蔑しませんでした。代わりに神を褒め称えました。

何組かの婚約中のカップルが不道徳な関係をやめ、同棲をやめ、神聖な神の教えに従おうとする姿を見て、神を褒め称えました。

これが教会のあるべき姿です。誠実で真実を追い求め、へりくだって自分の罪を認め、十字架と神の助けを受け入れて、イエスの似姿に成長していくことです。

クリスチャンではないのであれば、イエスの犠牲はすでにあなたに提供されています。それは罪から解放されるだけではなく、神の聖霊があなたに与えられ、神のご性質を持つ神の子供と変えられるためです。今日、イエスをあなたの救い主として受け入れてください。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0625jp

★クラス 401
人生の使命を発見する
2月9日(日)1pm - 5pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 まで修了したメンバー

★クラス 101
教会員になるためのメンバーシップクラス
2月16日(日)1pm - 5pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

各クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語訳字幕作成（1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．週末礼拝メッセージ翻訳（3名募集）
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

3．日本語訳レイアウト＆印刷（女性 2 名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。